



公益社団法人
全国老人保健施設協会

全老健会員向け

業務継続計画（BCP）策定支援研修

情報公表システムを活用した 災害情報の報告について

2022年3月

全国老人保健施設協会
管理運営委員会 副委員長 山野 雅弘



介護老人保健施設 紀伊の里

事業所の概要

事業所の特色

事業所の詳細

運営状況

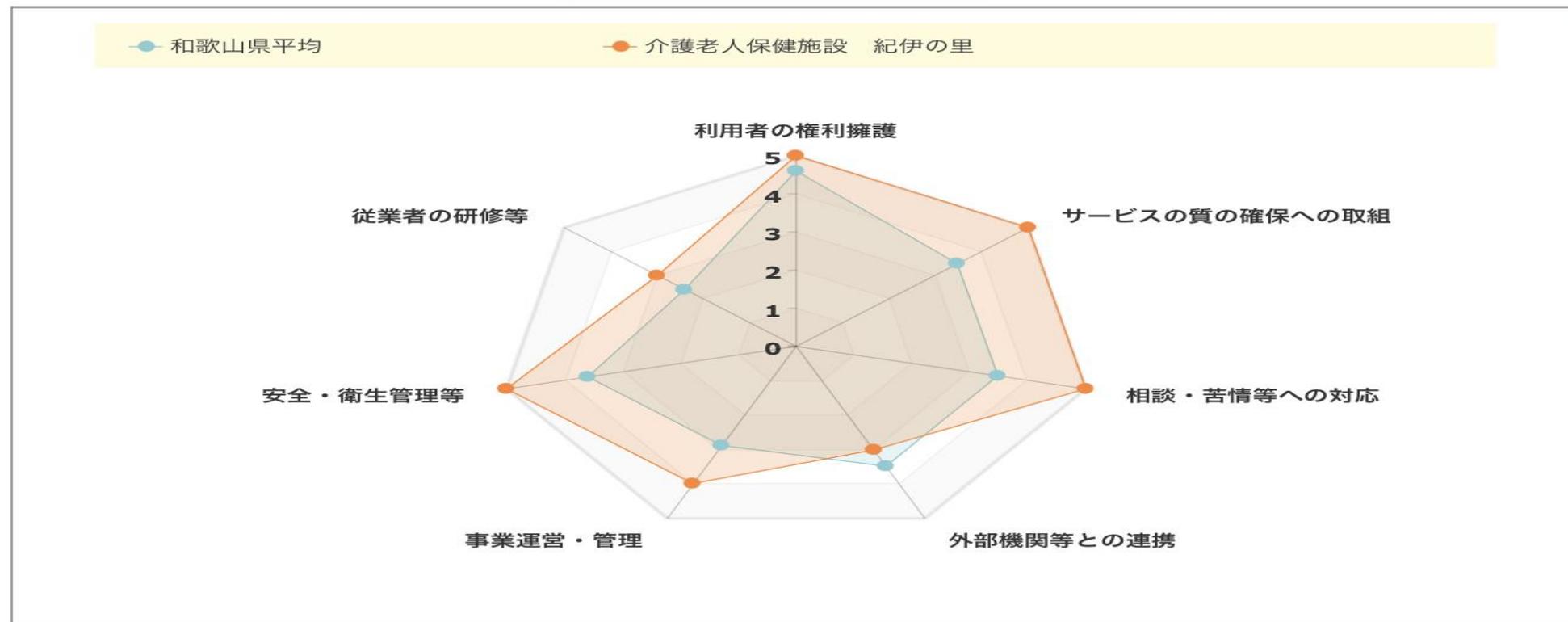
その他

記入日：2021年12月01日

介護サービスの種類	訪問リハビリテーション
所在地	〒649-6332 和歌山県和歌山市宇田森275-10 地図を開く
連絡先	Tel：073-461-8888/Fax：073-461-7112 ホームページを開く

[運営状況](#) | [事業所概要](#) | [サービス内容](#) | [利用料](#) | [従業者情報](#) | [利用者情報](#) | [介護報酬の加算状況](#) | [その他](#)

● 運営状況：レーダーチャート [（レーダーチャートを閉じる）](#)



現在の検索条件

閲覧履歴

★ お気に入り事業所一覧 1件

📄 事業所の比較 0件

▶ 公表情報の読み解き方 [🔗](#)

▶ 介護保険について

▶ このホームページの使い方

▶ アンケート

🏠 全国トップへ戻る

介護サービス
概算料金の試算

介護サービス情報報告システム

ID・パスワードを入力して「ログイン」ボタンを押してください。

ID (半角英数字)	<input type="text"/>
パスワード (半角英数字)	<input type="password"/>
サービス名	<input type="text" value="介護サービスコードを選択して下さい"/>

※予防サービスのみ単独で報告対象となっている事業所の場合も、「サービス名」は同種の介護サービスを選択してログインしてください。

ログイン

ログインして画像を登録する

[パスワードを忘れた方はこちら](#)

災害時情報共有システムの運用に向けた取り扱いについて

災害時における介護施設・事業所(以下「介護施設等」)の被害状況を国・自治体が迅速に把握・共有し、被災した介護施設等への迅速かつ適切な支援につなげるため、**介護サービス情報公表システム(以下「情報公表システム」)**に**災害時情報共有機能が追加**されました。

令和3年6月23日付 事務連絡:介護施設・事業所等における災害時情報共有システムについて

対象施設

- 1.老人短期入所施設
- 2.特別養護老人ホーム
- 3.認知症高齢者グループホーム
- 4.介護老人保健施設
- 5.介護医療院
- 6.小規模多機能型居宅介護事業所
- 7.看護小規模多機能型居宅介護事業所
- 8.介護療養型医療施設
- 9.短期入所療養介護
- 10.通所リハビリテーション
- 11.通所介護
- 12.認知症対応型通所介護
- 13.養護老人ホーム
- 14.軽費老人ホーム
- 15.生活支援ハウス
- 16.有料老人ホーム
- 17.サービス付き高齢者向け住宅

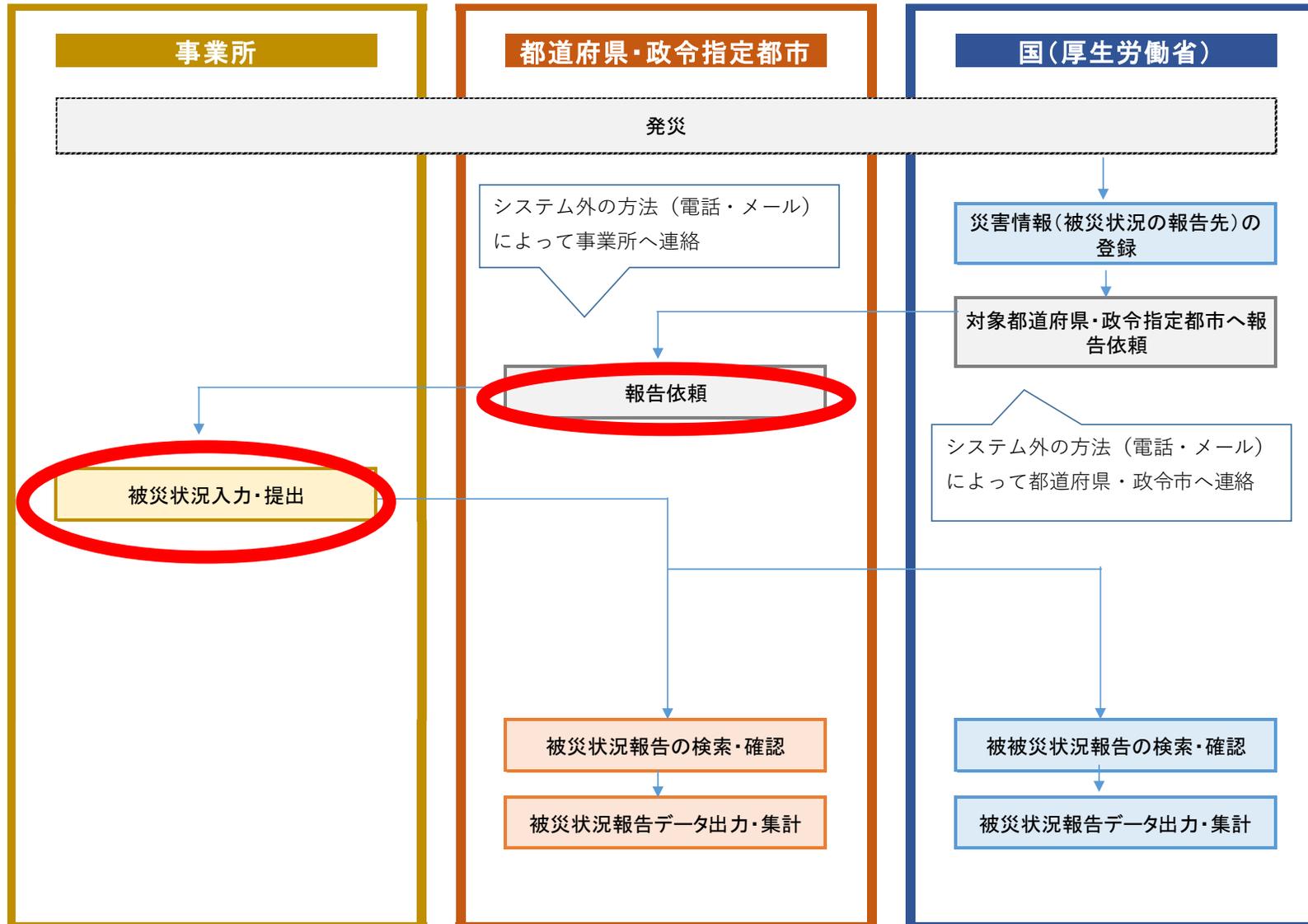
災害時情報共有システム（災害発生時のフロー）

システム外の業務

事業所の
システム操作

都道府県・政令指定
都市のシステム操作

国の
システム操作



災害時情報共有システム 被災状況報告項目①

人的被害の状況	選択式	(01) 人的被害なし	必須入力
		(02) 人的被害あり	
	入力式	(02-1) 負傷者 ●●人 (02-1-2) 重傷者(医療機関への搬送又は受診が必要)●●人 (02-3) 軽傷者(医療機関への搬送又は受診が不要)●●人	任意入力
		(02-2) 死亡者 ●●人 (02-3) 行方不明者 ●●人	
建物被害の状況	被害の規模	(01) 被害なし	必須入力
		(02) 軽微な被害あり(推定被害80万円未満) (03) 重大な被害あり(推定被害80万円以上)	
	被害の内容	選択式 (01) 建物損壊 (01-1) 全壊 (01-2) 大規模半壊 (01-3) 半壊 (01-4) 一部損壊 (01-5) 未定 (02) 浸水被害 (02-1) 床上浸水 (02-2) 床下浸水 (03) 雨漏り被害 (04) その他 ※複数選択可	任意入力
		記述式 ※建物被害の内容・建物被害があった場所等の詳細	任意入力
避難・開所の状況	入所施設	選択式 (01) 避難の必要性なし (02) 避難の必要性あり (02-1) 避難先の確保が困難 (02-2) 避難先を調整中 (02-3) 避難中	必須入力
			任意入力
		(02-3-1) 避難先施設の所在市町村 ※プルダウン選択式 (●●県 ●●市)	任意入力
		(02-3-2) 避難先施設種別 (01) 他施設 (02) 避難所 (03) 病院 (04) その他	任意入力
	記述式 (02-3-3) 避難先施設の名称	任意入力	
	記述式 (03) 避難の状況の詳細	任意入力	
	入所施設以外	選択式 (01) 支障なし(開所) (02) 支障あり(開所中) (02-1) 代替受入先なし・代替受入先調整中 (02-2) 代替受入先あり (02-2-1) 代替受入先施設の所在市町村 ※プルダウン選択式 (●●県 ●●市)	必須入力※
			任意入力
記述式 (02-2-2) 代替受入先施設の名称		任意入力	
記述式 (03) 開所の状況の詳細		任意入力	
必要な人的支援の状況		選択式 (01) 介護職員 (02) その他の職種(※看護師等) (03) ボランティア ※複数選択可	任意入力
		記述式 ※必要な人数・状況等の詳細	任意入力

災害時情報共有システム 被災状況報告項目②

ライフライン等の状況 及び必要な支援の状況	電気の状況	選択式	(01) 停電なし	必須入力	
			(02) 停電あり		
			(02-1) 非常用自家発電なし		任意入力
			(02-2) 非常用自家発電あり		
			(02-2-1) 燃料が十分ある、もしくは定期的に補充可能		
			電源車の支援		選択式
	(02-2-3) 今日の確保にも支障がある				
	(01) 支援を要請（高圧） (02) 支援を要請（低圧） (03) 支援を要請（電圧不明） (04) 支援不要				
	(01-1) 支援到着 (01-2) 支援未到着	任意入力			
	(02-1) 支援到着 (02-2) 支援未到着	任意入力			
	水道の状況	選択式		(01) 断水なし	
			(02) 断水あり		
			(02-1) 応急給水可能な受水槽・井戸設備なし	任意入力	
			(02-2) 応急給水可能な受水槽・井戸設備あり		
		飲料水の状況	選択式	(01) 十分ある、もしくは定期的に補充可能	任意入力
				(02) 2～3日分しかなく、その後については確保の見通しなし	
				(03) 本日分の確保にも支障がある	
		生活用水の状況	選択式	(01) 十分ある、もしくは定期的に補充可能	任意入力
				(02) 2～3日分しかなく、その後については確保の見通しなし	
				(03) 本日分の確保にも支障がある	
		トイレの状況	選択式	(01) 使用可能	任意入力
				(02) 使用不可	
	(02-1) 応急対応可能な代替設備なし				
	(02-2) 応急対応可能な代替設備あり				
給水車の支援	選択式	(01) 支援を要請 (02) 支援不要	任意入力		
		(01-1) 支援到着 (01-2) 支援未到着	任意入力		
ガスの状況	選択式	(01) 供給あり	必須入力		
		(02) 供給なし			
		(02-1) 応急可能な代替設備なし	任意入力		
		(02-2) 応急可能な代替設備あり			
冷暖房の状況	選択式	(01) 使用可能	必須入力		
		(02) 使用不可			

災害時情報共有システム 被災状況報告項目③

物資の状況	支援が必要な物資	選択式	(01) 食料 (02) 飲料水 (03) 薬 (04) おむつ (05) 衣服 (06) 毛布 (07) マスク (08) 消毒液 (09) その他 ※複数選択可	任意入力
		記述式	※支援が必要な物資の内容・数量等の詳細	任意入力
	食料の状況	選択式	(01) 十分ある、もしくは定期的に補充可能	任意入力
			(02) 2～3日分しかなく、その後については確保の見通しなし	
			(03) 本日分の確保にも支障がある	
	燃料（灯油・ガソリン）の状況	選択式	(01) 十分ある、もしくは定期的に補充可能	任意入力
(02) 2～3日分しかなく、その後については確保の見通しなし				
(03) 本日分の確保にも支障がある				
医療機器等の故障の状況	記述式	※医療機器等の故障の状況の詳細	任意入力	

災害時情報共有システム 物資の報告

物資の報告	マスク	選択式	なし あり	任意入力
		記述式	●●(枚)	任意入力
	サージカルマスク	選択式	なし あり	任意入力
		記述式	●●(枚)	任意入力
	消毒液	選択式	なし あり	任意入力
		記述式	●●(ℓ)	任意入力
	手袋	選択式	なし あり	任意入力
		記述式	●●(双)	任意入力
	ガウン	選択式	なし あり	任意入力
		記述式	●●(枚)	任意入力
	フェイスシールド	選択式	なし あり	任意入力
		記述式	●●(枚)	任意入力
	ゴーグル	選択式	なし あり	任意入力
		記述式	●●(個)	任意入力
	キャップ	選択式	なし あり	任意入力
		記述式	●●(個)	任意入力
	体温計(非接触型含む)	選択式	なし あり	任意入力
		記述式	●●(個)	任意入力
パルスオキシメーター	選択式	なし あり	任意入力	
	記述式	●●(個)	任意入力	
その他	記述式	※必要な物資を自由記述	任意入力	

災害時情報共有システム 新型コロナウイルス感染症の施設内感染対策のための自主点検項目

高齢者施設における施設内感染対策のための自主点検	1) 感染症対応力向上	チェック	①手指消毒の励行、定期的な換気を行っている	任意入力
		チェック	②職員の日々の健康管理を行っている	任意入力
		チェック	③入所者の日々の健康管理を行っている	任意入力
		チェック	④防護具の着脱方法の確認を行った	任意入力
		チェック	⑤清掃などの環境整備を行っている	任意入力
		チェック	⑥主な職員が動画「介護職員のためのそうだったのか！感染対策！」等を視聴した	任意入力
		チェック	⑦新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)について職員に周知を行った	任意入力
	2) 物資の確保	チェック	⑧在庫量と使用量・必要量を確認した	任意入力
		チェック	⑨一定量の備蓄を行っている	任意入力
	3) 関係者の連絡先の確認	チェック	⑩感染対策にかかる関係者の連絡先を確認している	任意入力
	4) 感染者発生時のシミュレーション	チェック	⑪個室管理、生活空間の区分けの検討を行った	任意入力
		チェック	⑫勤務体制の変更、人員確保の検討を行った	任意入力
		チェック	⑬検体採取場所の検討を行った	任意入力
	5) 情報提供	チェック	⑭感染者発生時の対応方針について入所者、家族と共有している	任意入力
		チェック	⑮感染者発生時の対応方針について協力医療機関と共有している	任意入力

【介護保険サービス事業所・施設 被害状況報告】

和歌山市指導監査課 宛							
(FAX 073-435-1320)							
				日付	年	月	日現在
				施設名 (事業所名)			
				サービス名			
				担当者			
				連絡先			

次のとおり被害状況を報告します。

1 人的被害の状況（負傷者等が出た場合）

※負傷者等の人数、負傷等の程度

2 建物被害の状況（サービス提供の継続に支障がある重大な被害が発生した場合）

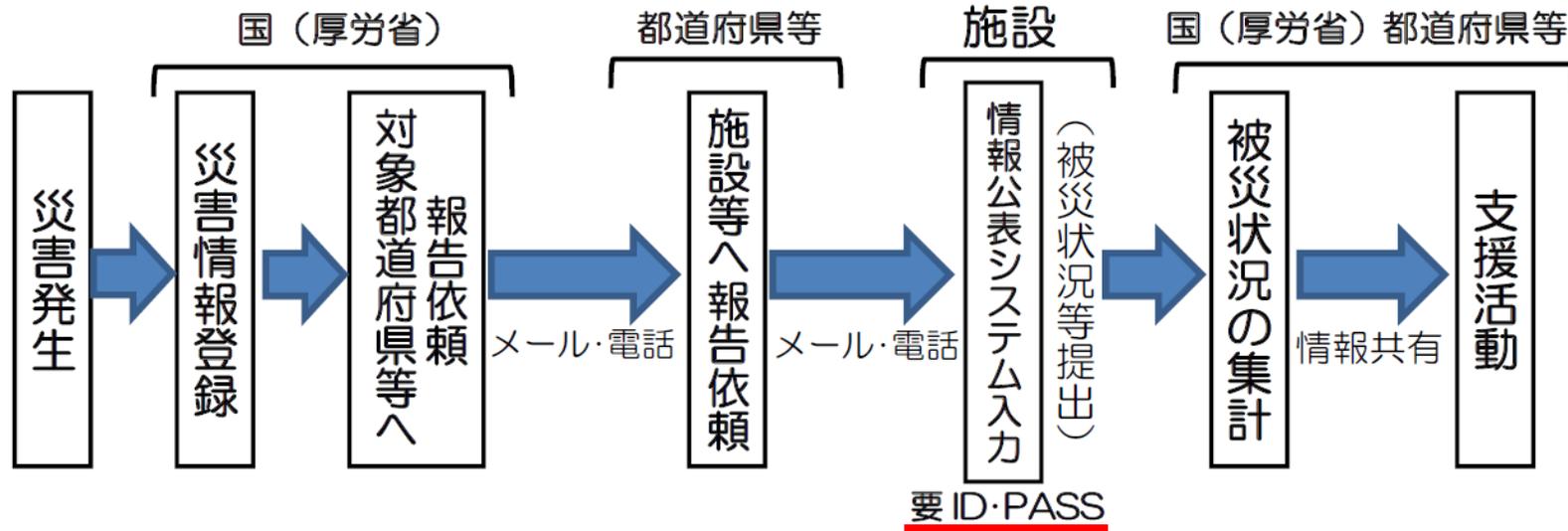
※具体的な被害状況

3 入所者の他施設等への避難があった場合

※人数、避難先の情報

施設で事前に確認しておくこと(流れ)

●災害時の被災状況の登録の流れ



平時に「介護サービス情報公表システム」にログインするためのID やパスワードの確認！

ID・PASSは、これまでの「介護サービス情報公表システム」のものと同様

貴施設のID : _____
PW : _____

この際確認して
把握しておきましょう。

施設で事前に確認しておくこと(公表サービスの入力画面)

被災状況報告

● 被災状況の報告

	項目
1.被災状況の報告	

調査票

「手順1 基本情報」、「手順2 運営情報」のすべての項目を入力してください。
すべての項目の状況が「記入済」になると提出が行えるようになります。

▲ 手順1 基本情報 **必須**



クリック後

報告する災害の選択

事業所番号: [REDACTED] グループコード: [REDACTED] グループ名: 介護老人保健施設サービス
計画年度: 2020年度 サービスコード: 520 サービス名: 介護老人保健施設

0-0 / 0件中

連番	選択	災害名	期間	前回報告日時	被災確認担当都道府県・政令指定都市
----	----	-----	----	--------	-------------------

※災害時に詳細を入力する画面が表示される

疑問点：(令和4年3月2日現在)

●どの規模の災害で入力するの？

Q:どの規模の災害で入力するのか、わからない。災害があった場合、都道府県から連絡がくるとなっているが、事前にどのレベルの災害で入力するのか、事前に知りたい。

都道府県・指定都市による介護施設等に対する連絡(都道府県→介護施設)
・厚生労働省から災害情報の登録連絡を受けた後、都道府県等は、速やかに管内の介護施設等に対し、メール等により、システム上で被害状況の報告が可能となったことを連絡して下さい。

A:今後検討される見込み(児童関係施設・障害児者関係施設との関係もあるため)

●施設で新型コロナウイルスなどの感染症が起こった場合

Q:公開されている、事業所向け操作マニュアル(被災状況報告編)の中に新型コロナウイルス対策の記載があるが、感染症でも被害報告をすることになるのか？

A:現時点では、災害時の状況報告にのみ利用しているところが、今後の感染状況等により、感染症発生時にも活用する可能性もあるもよう。もし、活用の際には、施設における感染対策ができているかということや、不足している物資がないかということ把握できればと想定されている。